

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 13 日

事業名称		女性福祉資金貸付事務費 [女性福祉資金貸付事務事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	25	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)											
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの											
担当部署・課長名	子ども家庭支援センター（子育て支援課） 課 総合相談（ひとり親・女性相談） 係								課長名	原 里美		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 児童福祉の推進								施策番号	2 - 4			
								総合計画書 (ページ)	59			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	都内に6か月以上居住している配偶者のない女性で、次のいずれかに該当する方。①親、子、兄弟姉妹等を扶養している方。②所得が2,036千円以下で、かつて母子家庭の母として子を扶養したことがある方又は婚姻歴のある40歳以上の方。					市内在住の配偶者のない女性						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	貸付を受けることにより、配偶者のない女性が経済的に安定する。また計画的な収支を行うことにより、より自立した生活を営むことができるようになる。					貸付を利用し、償還している人の割合 償還件数/調定件数（延） 25件/885件						
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
1 貸付を必要とする方からの相談→面接予約 2 面接 3 申請 4 審査 5 承認・不承認 6 貸付 7 償還					年間貸付、相談件数（貸付、償還） 貸付：新規0件、継続0件 相談延件数：0件							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明						
	成果指標	②の数値	%	5.4	6.0	2.8						
	目 標	②の目標値	%	9	9	9		9	9			
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 貸付を利用することで、自立した生活を営むことができ、償還にもつながる。												
活動指標		③の数値	件数	1	2	0						
3 経費	事業費（実績）		円	24,909	25,301	62,496		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	24,909	25,301	62,496						
			(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0					
職員人件費(再任用以外)		円	831,000	838,000	825,000							
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	855,909	863,301	887,496							
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く											
	償還滞納者に対する償還促進。											
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く											
	定期的に電話、訪問、手紙等でアプローチを行う。また、督促及び催告による償還促進を継続する。											